

事業概略書

事業名	インクルーシブデザインの手法によるユーザ参加型デザインの仕組みづくりに関する調査研究
事業目的	<p>これからの社会では、高齢になっても障害をもっても、人間らしく豊かに生きるために考えられ、デザインされたものが必要である。たんぽぽの家では使い手である障害のあるユーザーの意見をデザインの上流過程に取り入れる、インクルーシブデザインの手法に着目し、ワークショップに取り組んできたが、そのなかで分かってきたことに、ユーザー側とモノづくり側をコーディネートし、つなぐシステムが必要であるということだ。</p> <p>そこで、デザインに関する専門家、学生、福祉団体、NPO、そして障害のある人がともにデザインに取り組むインクルーシブデザイン・ワークショップの実施や調査を通して、ユーザーとモノづくり側をつなぐ仕組みについて考えた。そして、障害のある人のデザインを通じた就労や社会参加につなげていく仕組みをつくること、多様な人がデザインにかかわる重要性を社会に広げていくことを目的とした。</p>
事業概要	<p>(1) 検討委員会の開催 ユーザーとモノづくり側が協働し、デザイン開発に取り組むための仕組みづくりを検討する委員会を実施した。</p> <p>(2) 関東・関西でのインクルーシブデザイン・ワークショップの実施 障害のある人や企業の商品開発や社会貢献部門担当者、デザイナー、大学等の研究者、学生、福祉関係者、NPO関係者が参加するワークショップを開催した。</p> <p>(3) ユーザー側とモノづくり側をつなぐウェブサイトの構築 デザインプロセスへの参画に関心のある障害のある人をはじめとしたユーザーやユーザー参加型デザインに関心のある企業やデザイナー、教育機関が会うことのできるウェブサイトを構築した。</p> <p>(4) 事業成果の普及活動 本事業の成果やインクルーシブデザインの日本における広がりについて紹介するフォーラムを開催した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>インクルーシブデザインの手法を取り入れたワークショップに参加することを通して、障害のある人の日常生活上の困難や工夫が具体的に引き出されることがわかった。また、それを新しいデザインにつなげていくことや、多様な人々とのコミュニケーションにつなげる点で、障害のある人の新しい社会的役割を創出した。としわけ、さまざまな背景をもつ人たちが一堂に会して実施するワークショップは新しいデザインを生み出すということだけではなく、協働作業を通じてのコミュニケーション教育になるということがわかった。インクルーシブデザインの手法はモノのデザインだけではなく、観光や医療、教育等、さまざまな分野に応用可能な社会デザインの手法であるということもわかった。1年間の活動を報告し、共有するために開催したフォーラムでは、多くの人が参加し、反響を得ることができた。</p>
事業主体	<p>〒630-8044 奈良県奈良市六条西3-25-4 財団法人たんぽぽの家 TEL : 0742-43-7055 E-MAIL : tanpopo@popo.or.jp</p>

- (注) 1. 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するので、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
2. 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途、実施した事業についての報告書冊子を必ず提出すること。